

2024年度正味財産増減計算書
2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
1. 一般正味財産増減の部			
1) 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費・加入金	13,760,000	14,183,500	△ 423,500
受取会費	13,740,000	14,078,500	△ 338,500
受取加入金	20,000	105,000	△ 85,000
② 事業収益	54,141,021	44,253,145	9,887,876
認定事業収益	10,145,931	9,093,137	1,052,794
普及事業収益	13,647,264	12,734,268	912,996
調査研究事業収益	28,847,826	20,925,740	7,922,086
日本木材保存剤工業会事業収益	1,500,000	1,500,000	0
③ 雑収益	878,841	567,160	311,681
受取利息	34,938	627	34,311
雑収入	843,903	566,533	277,370
経常収益計	68,779,862	59,003,805	9,776,057
(2) 経常費用			
役員報酬	6,720,000	7,368,166	△ 648,166
給料手当	6,312,016	5,616,778	695,238
退職給付費用	942,101	682,744	259,357
通勤費	851,530	824,830	26,700
福利厚生費	2,004,004	1,793,833	210,171
会議費	513,299	443,577	69,722
旅費交通費	1,995,805	2,305,195	△ 309,390
通信運搬費	4,066,969	2,358,436	1,708,533
消耗什器備品費	0	0	0
減価償却費	356,840	0	356,840
消耗品費	41,382	47,230	△ 5,848
印刷製本費	6,713,191	4,606,972	2,106,219
光熱水料費	316,318	281,106	35,212
賃借料	5,822,300	5,346,000	476,300
諸謝金	1,084,623	1,080,375	4,248
会場借料	1,037,340	759,804	277,536
原稿料	763,000	356,000	407,000
総会・年次大会開催費	1,732,077	1,212,561	519,516
負担金	851,251	342,841	508,410
資料購入費	87,600	74,400	13,200
租税公課	762,800	1,037,100	△ 274,300
技術奨励賞	250,000	600,000	△ 350,000
賃借更新料	390,500	0	390,500
雑費	998,904	402,199	596,705
IRG56事業費	2,245,304	20,420	2,224,884
調査研究事業費	21,707,026	21,376,724	330,302
経常費用計	68,566,180	58,937,291	9,628,889
当期経常増減額	213,682	66,514	147,168

科 目	当年度	前年度	増減
2) 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	213,682	66,514	147,168
一般正味財産期首残高	59,909,386	59,842,872	66,514
一般正味財産期末残高	60,123,068	59,909,386	213,682
2. 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	2,538,000	0	2,538,000
当期指定正味財産増減額	2,538,000	0	2,538,000
指定正味財産期首残高	6,200,000	6,200,000	0
指定正味財産期末残高	8,738,000	6,200,000	2,538,000
3. 正味財産期末残高	68,861,068	66,109,386	2,751,682

2,751,682

○経常収益の補足説明

1. 認定事業収益では、前年度よりも木材保存剤の認定登録更新が22剤増等で、全体で増加した。
2. 普及事業収益では、前年度よりも木材保存士の更新者増等により全体で増加した。
3. 調査研究事業収益では、AQ実用化研究会手数料(1件)、科研費助成金(IRG56運営費等支出用)等により増加した。

○経常費用の補足説明

1. 通信運搬費は、リモートワーク導入、HPのサーバー移設およびセキュリティ強化対応により増加した。
また、貯蔵品(切手)購入により26,727円(貸借対照表参照参照)を算入し(減じ)た。
2. 減価償却費は、パンジット購入の供用初年度に発生した減価償却費である。
3. 印刷製本費は、印刷費高騰の影響もあり、IRG56関連広告、テキスト、認定関連等種々印刷物費用が前年度実績より増加したが、予算(6百万円)を少し上回る費用に抑えた。
また、棚卸図書資産の使用(販売)により棚卸図書108,373円(貸借対照表参照)を算入し(増じ)た。
4. 調査研究事業費は、林野庁支援事業2件を実施し、約153万円の消費税額を負担した。
5. IRG56事業費は、科研費助成金(190万円)を活用し、開催前年度の開催準備(HP作成等事務手数料、事前打合せ、IRG55視察渡航費等)に支出した。